

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月14日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	氷川町	代表者名	藤本 一臣		
担当者部署	企画財政課	連絡先電話番号	0965-52-5850		
担当者役職	主事	担当者氏名	上田 洸平	連絡先E-mail	
住所	869-4814 熊本県氷川町島地642番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	横山 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	DX推進リーダーを対象とした人材育成研修の第1回目を実施。「Society5.0と行政のDX」「行政のデジタルイノベーション」をテーマに、デジタル技術による社会変化や行政DXの背景・事例などを分かりやすくご講演いただいた。推進リーダーの知識・認識不足が課題となっていたなか、今後の本庁における取組の土台となる内容を学ぶことができた。
アドバイザーへの要望事項	今回の研修に参加できなかった職員が多いため、次回の冒頭で簡単な振り返りをしていただきたいです。また、途中で集中力が切れている職員も見受けられたため、合間に5分程度の休憩を入れていただけると幸いです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月9日	13時30分	15時30分		120
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企画財政課(DX推進事務局)、総務課(電算担当者)、各課DX推進リーダー	14人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	
	職員のデジタルリテラシーとDXへの理解が不足していることから、効果的な協議が行えず、各課題への取組も停滞している。	
	支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	
	自治体DXにおいては職員全員の意識改革が求められることから、まずはDX推進リーダーとして選出された職員を育成し、意識改革の起点としたい。	
	アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	
	・DX人材育成研修の実施(第1回目、全4回)	
	支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	
	・職員の基礎知識の向上、DXに関する意識醸成 (社会的背景とSociety5.0にむけた取組み、行政DX・地域DXの概要と他自治体事例紹介など)	
	具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑦その他
		推進リーダーの知識向上および意識醸成
	改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的な取組イメージの紹介、部署・分野ごとの事例共有
	アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート未実施
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	対象者がデジタル技術の動向と自治体DXの全体像を理解していること。また、各課におけるDX推進施策の課題抽出や、デジタル技術を活用した業務の改善提案が行える状態になっていること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

